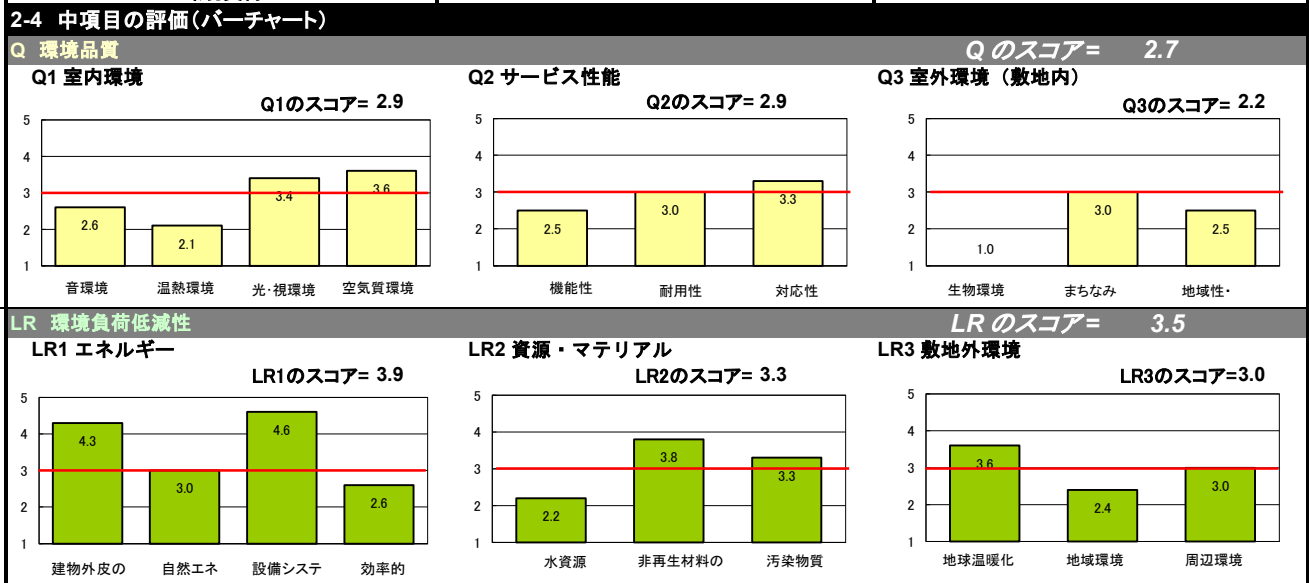
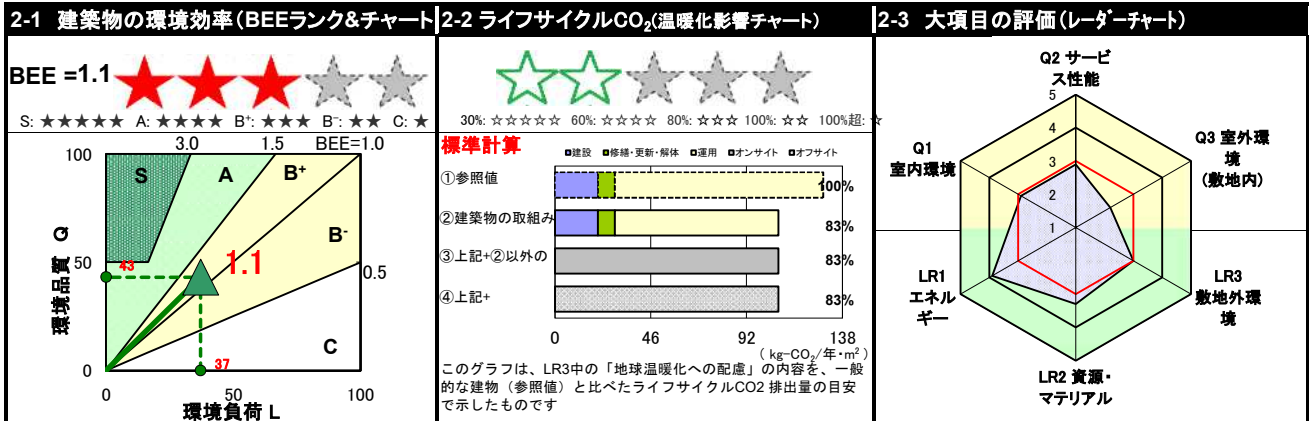


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ARAIビル	階数	地上7F、地下1F
建設地	埼玉県所沢市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	380 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年3月14日
敷地面積	952 m ²	作成者	平岩建設株式会社
建築面積	501 m ²	確認日	2024年3月14日
延床面積	2,191 m ²	確認者	平岩建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合 立地が商業エリアと住宅エリアの境であるため双方に配慮し、白を基調としたデザインしている。商業側に面する北面と東面はアルマイト色とライトブラウンのボーダーの装飾で都市の風景に活気を与えるデザインとしている。 1. 2階の低層部は商業フロアのため、さらに街にぎわいを生むよう4色の茶系のパネルで彩りを演出している。		その他 特になし
Q1 室内環境 屋光率を高めに設定し、また、カーテンや庇を採用するなど、光・視環境に配慮している。	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル O Aフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場を確保し利便性に配慮、管理用車両の駐車施設を確保するなど、交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)ARAビル

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40	-	-	2.9
1 音環境		2.0	0.15	3.1	1.00	2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.46	3.0	0.50	
1.2 遮音		1.3	0.46	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能	住戸) サッシ遮音性能T-2	1.0	0.84	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	住戸) Dr値=50	3.0	0.16	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.08	-	-	
2 温熱環境		2.5	0.35	1.8	1.00	2.1
2.1 室温制御		2.9	0.50	2.1	0.71	
1 室温	飲食) 冬期22℃夏期26℃	4.0	0.58	1.0	0.63	
2 外皮性能	住戸) 断熱等級4	1.8	0.29	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		1.0	0.13	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.29	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.9	0.25	4.0	1.00	3.4
3.1 昼光利用		3.7	0.58	4.0	0.50	
1 昼光率	共用) 2.5% ≤ [昼光率]、住戸) 2.0% ≤ [昼光率]	5.0	0.36	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.64	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.18	4.0	0.50	
1 昼光制御	住戸) カーテン+庇(バルコニー)	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.09	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.15	-	-	
4 空気質環境		3.5	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.56	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.5	0.36	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	飲食) 給気位置と排気位置は距離をとっている	4.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		1.0	0.08	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.9
1 機能性		2.4	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.2	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画	住戸) 円滑化基準を満たす	3.2	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		1.0	0.20	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	0.80	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	飲食) 床:コンクリート65年、壁:コンクリート65年・石膏ボード20年、天井:ボード30年	4.4	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.3	0.30	3.3	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり		3.6	0.12	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	4.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.12	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.4	0.76	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制	4.3	0.20	-	-	4.3
2	自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = - BEIm=0.73、BEI=0.86	4.6	0.50	-	4.6
4 効率的運用		2.6	0.20	-	-	2.6
集合住宅以外の評価		2.0	0.40	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		3.0	0.60	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1	節水	1.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避	3.5	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制	2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
1	騒音	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制	3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制	3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)ARAIビル	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	1.6	=	5.2
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
ライフサイクルCO2排出率80%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

: 入力欄